

# 令和5年度 文の里中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません

## 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

### 2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

## 3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

## 4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

# 令和5年度 文の里中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	英語	国語	数学	英語
3年	学校	197	72	56	57	3.6	7.6	3.6
	大阪市	—	67	49	44	5.2	11.0	6.6
4月18日	全国	—	69.8	51.0	45.6	4.6	9.6	5.7

## 2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3年	学校	195	71.0	62.0	61.2	55.4	69.3	6.0	1.6	7.6	5.4	2.8
	大阪市	—	62.3	54.2	51.9	47.8	54.3	9.9	2.9	10.6	8.0	6.2
9月5日	大阪府	—	62.1	54.7	52.2	47.6	54.2	10.3	3.1	11.2	9.0	6.5
2年	学校	197	70.8	58.2	59.5	45.8	65.1	6.8	2.9	9.5	8.5	7.2
	大阪市	—	66.7	54.6	52.2	40.6	57.2	8.2	3.2	11.2	11.1	8.6
1月10日	大阪府	—	66.8	54.2	52.2	40.2	57.1	8.3	3.5	12.0	11.3	8.9
1年	学校	226	65.0	63.4	61.9	66.2	71.1	6.4	3.3	6.7	1.2	2.8
	大阪市	—	60.6	56.0	55.4	62.2	64.1	8.7	5.2	9.1	1.9	4.3
1月10日	大阪府	—	60.8		54.7		64.1	9.6		10.3		4.9

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はA問題を選択 2年生の理科はA問題を選択

※ 3年生の理科はC問題を選択

## 3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年 実施月日		生徒数 (人)	読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと
			【リーディング】	【リスニング】	【ライティング】	【スピーキング】
			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3年	学校	191	121.1	126.2	169.9	121.9
10月16日	大阪市	—	101.3	107.7	137.9	102.2

## 4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトル ラン	持久走 男子1500m 女子1000m	50m走	立ち 幅とび	ハンドボール 投げ	体力 合計点
	193	(kg)	(数)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
2年男子	学校	30.51	27.71	46.01	52.95	76.25		8.12	193.07	20.90	42.75
	大阪市	28.62	26.21	42.04	51.65	79.05	417.51	8.05	194.78	19.88	40.79
	全国	29.02	25.82	44.16	51.22	78.07	409.02	8.01	197.02	20.40	41.32
2年女子	学校	23.81	22.00	44.31	45.77	45.99		8.98	163.49	12.63	46.52
	大阪市	23.11	22.12	44.78	46.25	52.11	313.19	9.03	165.29	12.10	46.99
	全国	23.15	21.62	46.27	45.65	50.70	306.26	8.95	166.34	12.43	47.22

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

<国語>

令和5年度の学力・学習状況調査において、国語の平均正答率は72%と、大阪市と比較してプラス5ポイント、全国と比較してプラス2ポイントと、大阪市平均、全国平均を上回った。

領域別に得点率を全国平均と比較すると、「書く」について、4.3ポイント、「言葉の特徴」について9.1ポイント、「情報の扱い方」について4.1ポイント上回る結果となった。一方で、「話す・聞く」について-2.8ポイント、「読む」について-0.4ポイントとなった。

<数学>

数学の平均正答率は56%で、大阪市平均を7ポイント、全国平均を5ポイント上回っていた。領域別に得点率を全国平均と比較すると、「数と式」について9.2ポイント、「図形」について9.6ポイント、「関数」について3.9ポイント上回った。一方で、「データの活用」について-4.5ポイントとなった。

<英語>

英語の平均正答率は57%で、大阪市平均を13ポイント、全国平均を11ポイント上回っていた。

領域等別に得点率を全国平均と比較すると、「聞くこと」について10ポイント、「読むこと」については、9.3ポイント、「書くこと」については16.5ポイント上回った。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

<成果>

平均点は全教科・全領域で大阪府の値を大きく上回っていた。また、無回答率も全教科で大阪府の値より小さかった。

<課題>

社会科の短答式問題において、大阪府平均を上回っているが、他の問題に比べ差が小さかった。

【今後に向けて】

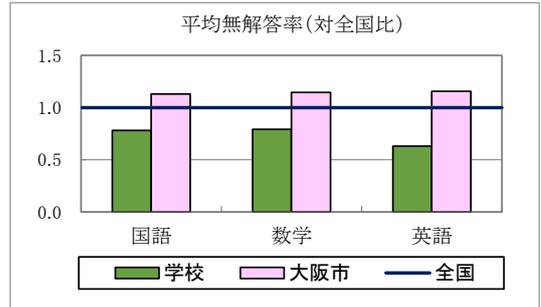
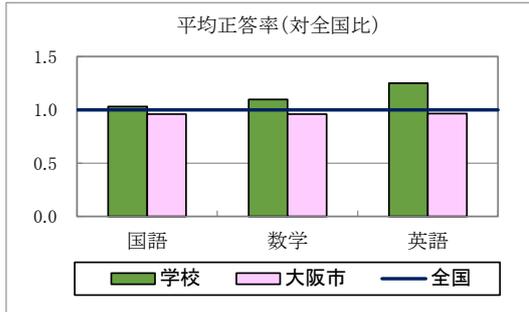
令和5年度 文の里中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)		
	国語	数学	英語
学校	72	56	57
大阪市	67	49	44
全国	69.8	51.0	45.6

	平均無解答率(%)		
	国語	数学	英語
学校	3.6	7.6	3.6
大阪市	5.2	11.0	6.6
全国	4.6	9.6	5.7

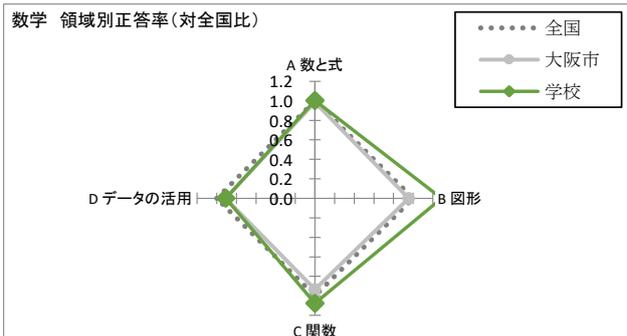
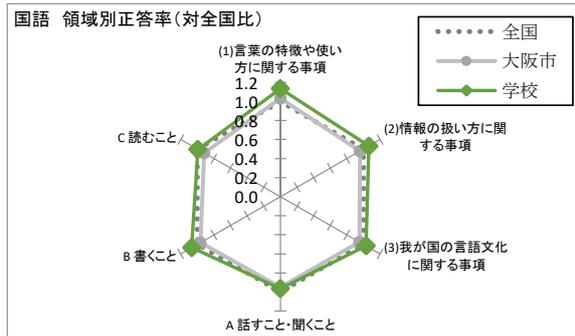
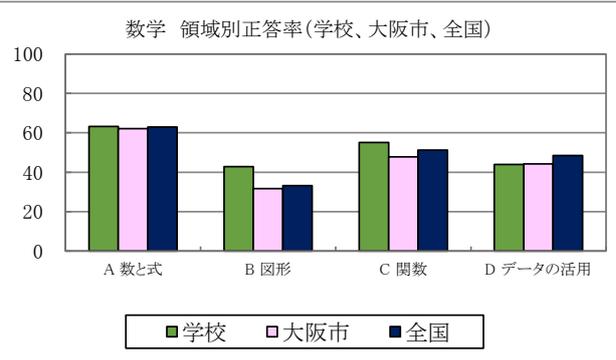
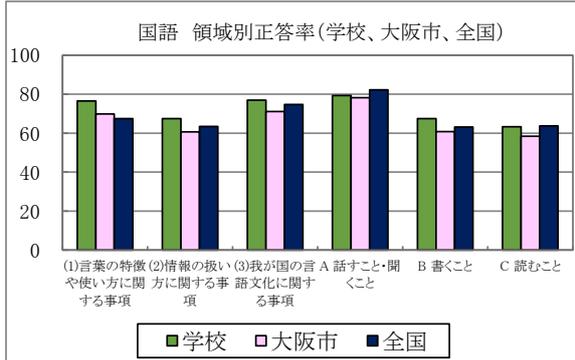


【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	2	76.6	69.8	67.5
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	67.5	60.7	63.4
(3)我が国の言語文化に 関する事項	3	77.0	71.1	74.7
A 話すこと・聞くこと	3	79.4	78.2	82.2
B 書くこと	2	67.5	60.8	63.2
C 読むこと	4	63.3	58.5	63.7

【 数 学 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	63.2	62.1	63.0
B 図形	3	42.8	31.7	33.2
C 関数	4	55.1	47.8	51.2
D データの活用	3	44.0	44.2	48.5

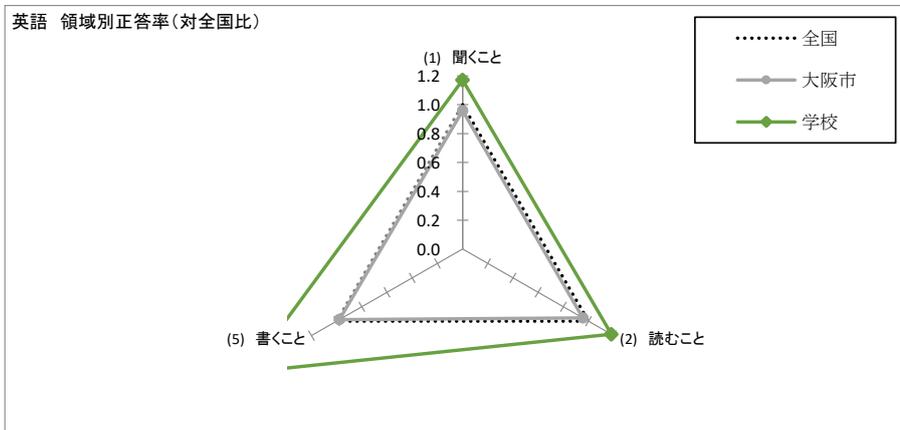
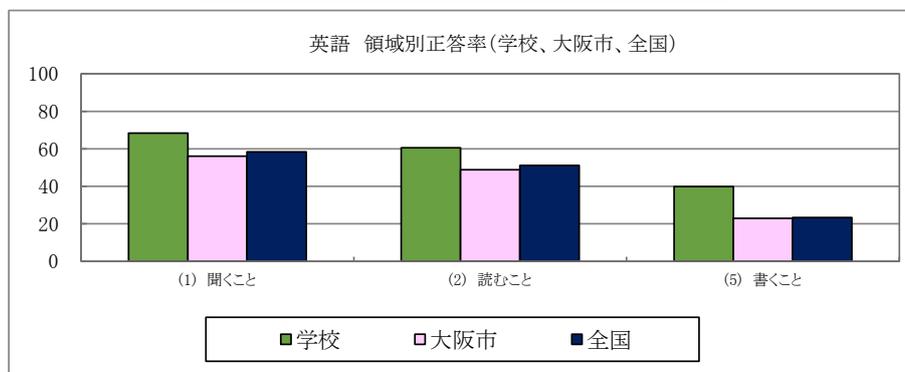


令和5年度 文の里中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【英語】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1) 聞くこと	6	68.4	56.0	58.4
(2) 読むこと	6	60.5	48.9	51.2
(3) 話すこと[やり取り]	0	/	/	/
(4) 話すこと[発表]	0	/	/	/
(5) 書くこと	5	39.9	22.9	23.4

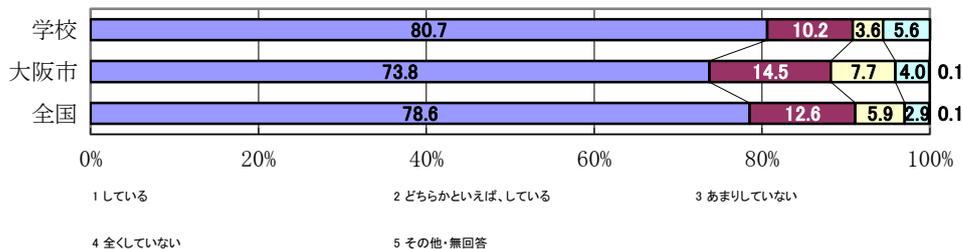


# 令和5年度 文の里中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

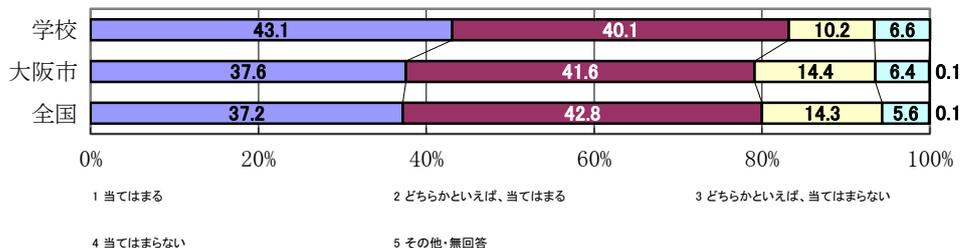
## 生徒質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

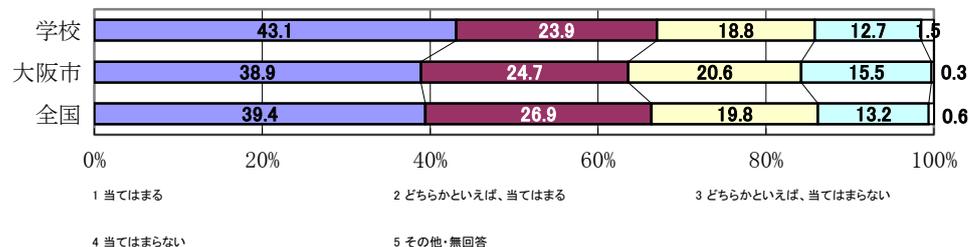
質問番号
質問事項
1
朝食を毎日食べている



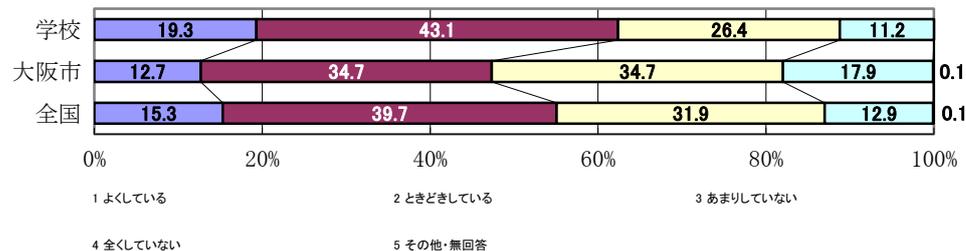
4
自分には、よいところがあると思う



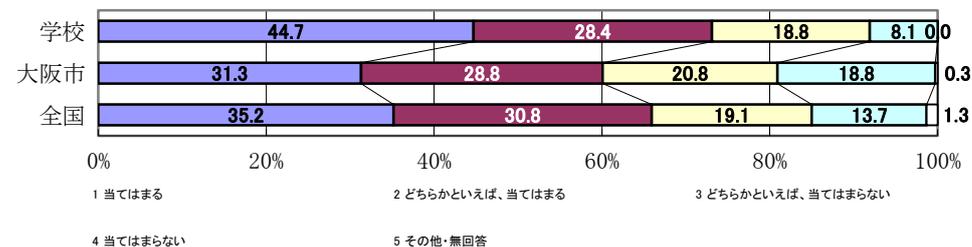
7
将来の夢や目標をもっている



16
家で自分で計画を立てて勉強していますか(学校の授業の予習や復習を含みます)



24
読書は好きですか

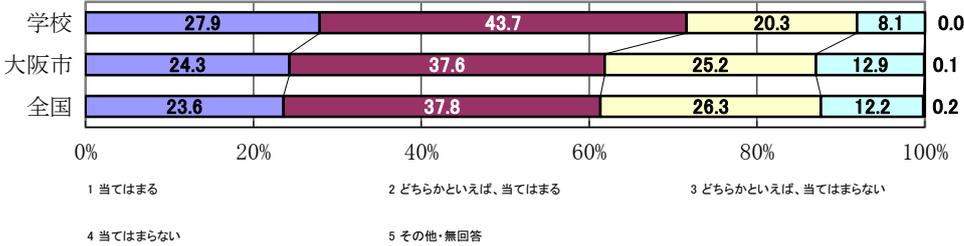


# 令和5年度 文の里中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

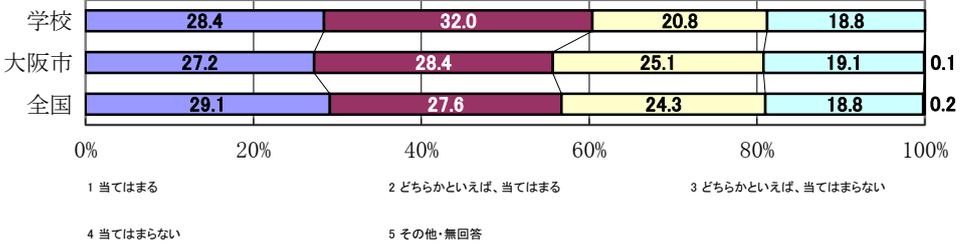
## 生徒質問紙より



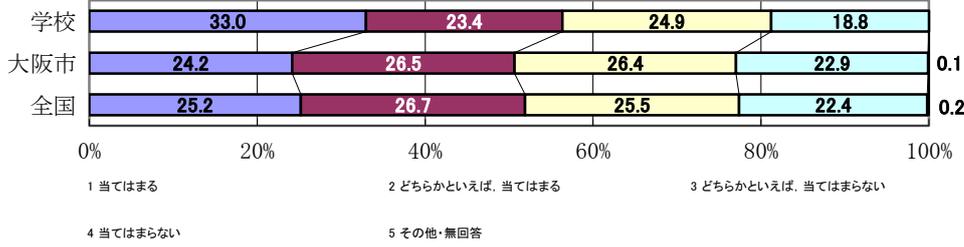
質問番号
質問事項
47
国語の勉強は好きだ



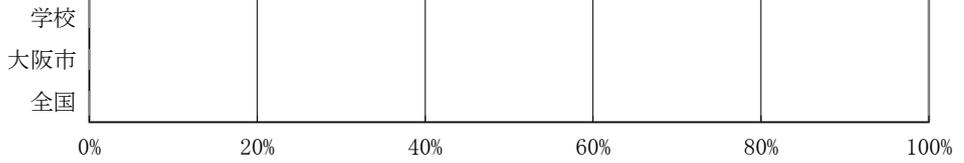
質問番号
質問事項
55
数学の勉強は好きだ



質問番号
質問事項
59
英語の勉強は好きだ



質問番号
質問事項



質問番号
質問事項



# 令和5年度 文の里中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

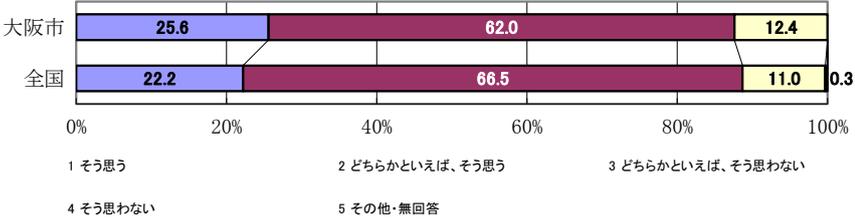
## 学校質問紙より



質問番号
質問事項

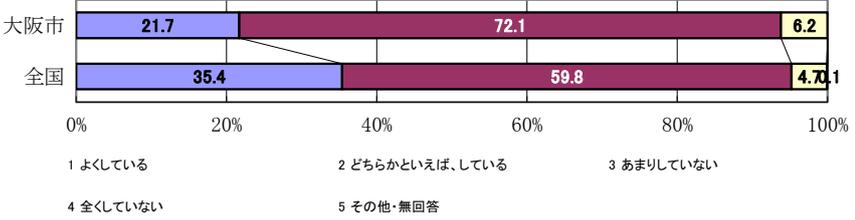
8
調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強している

学校 「**そう思う**」を選択



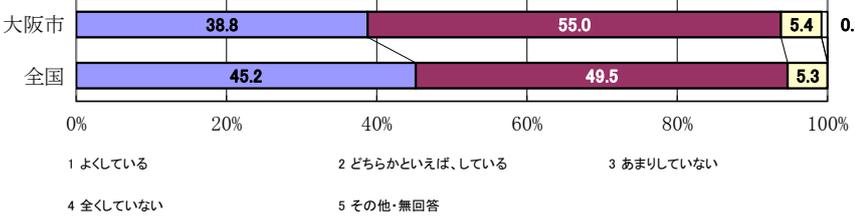
19
生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している

学校 「**どちらかといえば、している**」を選択



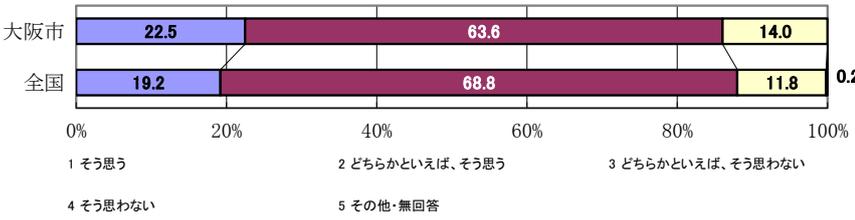
22
授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている

学校 「**どちらかといえば、している**」を選択



26
調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている

学校 「**そう思う**」を選択



40
調査対象学年の生徒に対して、特別の教科 道徳において、取り上げる題材を生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている

学校 「**」**を選択

